カリキュラムマップ (建築・建設工学専攻 博士前期課程)

○ : DPと最も関連がある科目(一つのみ)● : DPと関連がある科目

						,	77 1 T 7F1		知訓	戦・理解	思考	・判断	関心・意欲	能	度	技能	· 表現
							単位数	X 	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9
NO	科目区分	科目 ナン バー	授業科目の名称	配当年次	前・後期の別	必修	選択	自由	建築物を取り巻く社: 的背景や空間特性、 能性を読み解く力を している。(建築・・ ザイン)	DP2  建築、構造、設備、建 会設における計画、設 計、施工、管理の実務 有に係わる幅広い知見と で理解力を有している。 (構造・設備・建設工 学)	技術者倫理を理解し、 種々の条件・制約を踏 まえて、建築物の立 案、設計、プレゼン テーションをすること ができる。 (建築・デ ザイン)	建築構造、建築材料、 建築設備あるいは建設 工学分野における問題 を把握し、考究する能 力を有している。(構 造・設備・建設工学)	専門分野に係わるコミュニケーションを図りながら、文献調査、実験、観測、現地調査など熱意をもって進め、自らの設計、研究を深めてゆくことができる。	積極的に設計競技に設計競技に設計がある。 表を行い、ある。 表を行いてのの事とでは、 ででするでででいる。 を発動がある。 を発動が、 を発動がある。 を発動が、 を	建築、建設技術が社会 に及ぼす影響、および 設計者、技術者が社会 的に負って、専門分野に 理解して、専門分野に おける自らの課題に取 り組むことができる。	計画から工事監理まで のプロセスを理解し、 専門家としてそれを実 践するための能力を有 している。(建築・デ ザイン)	専門知識に基づく実験、実測、解析を行い、結果の整理と解釈から正しい説明を行うことができる。 (構造・設備・建設工学)
	研究科目 専門・応用																
1		5101	建築意匠特論	1	前期		2		0		•					•	
2		5102	建築史特論	1	後期		2		0				•		•		
3		5103	建築計画特論	1	後期		2		•		•		0		•		
4		5104	建築設計特論	1	前期		2		•		0				•	•	
5		5201	構造デザイン特論	1	前期		2			0		•			•		•
6		5202		1	前期		2			0		•			•		•
7		+	建築生産特論	1	前期		2			•		0					•
8		+	建築環境学特論	1	前期		2			©		•	•		•		
9		+	建築設備特論	1	後期		2			©		•	•				
10			住宅特論	1	後期		2		0		•	-	-			•	
11		•	<u>ーニ・・・・・・・・・・</u> コミュニティデザイン特論	1	前期		2		•				•		0		
12			都市計画特論	1	前期		2		©		•		•				•
13			防災工学特論	1	後期		2			•		(a)	•				
14		_	地震工学特論	1	後期		2			•		©					
15			地盤工学特論	1	前期		2			<u> </u>		•					
16			解析特論	1	後期		2										©
10	演習・実験	1 0400	ガキ4ガ 1寸 pml	'	及利					_		<b>—</b>					
17		6101	建築意匠演習	1	前期		2		•		•			0		•	
18			建築史演習	1	後期		2		•		•		•	0			
19			建築計画演習	1	後期		2		•		•		0		•		
20			建築設計演習	1	後期		2		•		0		_		•	•	
21			構造デザイン演習・実験	1	前期		2			•	•	0					•
22			建築構造演習・実験	1	前期		2			•		©	•				•
23			建築生産演習・実験	1	前期		2			•		•					<u> </u>
24			<u> </u>	1	前期		2										0
25			建築設備演習・実験		後期		2										©
26			住宅演習	'	後期		2				•					©	
27		-	世七演自 コミュニティデザイン演習	'	後期		2				_				©	<u> </u>	
20			都市計画演習		後期		2		•		•				<u> </u>		
20			が が が が が が が が が で に で に に に に に に に に に に に に に	'	後期		2		_	•	_		•				
20			地震工学演習・実験	'	後期		2					_	©				•
30					-		2			•			<u> </u>				
٥١			地盤工学演習・実験		前期		2							•			9
32	インターンシ		解析演習・実験		後期					•		•					©
33		-	 建築・建設工学インターンシップ	1	前期		4		•	•					©	•	•
30	論文指導科目	1 3301			114 6.11										9		<b>J</b>
34		5001	建築・建設工学研究 1	1	前期	2			•	•	•	•	•	0			
35			建築・建設工学研究2	1	後期				•	•	•	•	•	0			
36			建築・建設工学研究3A(論文)	-	前期		2			•		•	0		•		
37			建築・建設工学研究3B(設計)		前期		2		•		•		0		•		
38			建築・建設工学研究4A(論文)	-	後期		2			•		•	©		•	•	•
39			建築・建設工学研究4B(設計)		後期		2		•	-	•	-	©		•	•	•
		1	計	<del>                                     </del>		4		0			_						
ш		1	7.						<u> </u>	1	<u>l</u>	L	1	<u> </u>	1		1

## 建築・建設工学専攻 博士前期課程 カリキュラムツリー

			知識	<u>・</u> 理解		· 判断	関心・意欲	態		技能・表現		
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	
4-	学年		背景や空間特性、機能性 を読み解く力を有してい	工、管理の実務に係わる 幅広い知見と理解力を有	種々の条件・制約を踏ま えて、建築物の立案、設 計、プレゼンテーション をすることができる。	築設備あるいは建設工学 分野における問題を把握 し、考究する能力を有し	専門分野に係わるコミュニケーションを図りながら、文献調査、実験、観測、現地調査など熱意をもって進め、自らの設計、研究を深めてゆくことができる。	し、あるいは学会発表を 行い、自らの設計および 研究の専門分野における 意義と社会的な重要性を	及ぼす影響、および設計者、技術者が社会的に 負っている責任を理解して、専門分野における自らの課題に取り組むこと		実測、解析を行い、結果 の整理と解釈から正しい	
	2	後					建築・建設工学研究 4A(論文) 建築・建設工学研究 4B(設計)					
	_	前					建築・建設工学研究 3A(論文) 建築・建設工学研究 3B(設計)					
1								建築・建設工学研 2 ▲	建築建設工学 インターンシップ			
		後	住宅特論建築史特論	建築設備特論	建築設計演習	地震工学特論 防災工学特論	地震工学演習・実験 都市計画演習 建築計画演習 建築計画特論	建築史演習	コミュニティ デザイン演習	住宅演習	解析演習・実験 防災工学演習・実験 建築設備演習・実験 解析特論	
	1							建築・建設工学研究1				
		前	都市計画特論建築意匠特論	地盤工学特論建築環境学特論建築構造特論構造デザイン特論	建築設計特論	建築構造演習・実験構造デザイン演習・実験建築生産特論		建築意匠演習	コミュニティ デザイン特論		地盤工学演習・実験 建築環境学 演習・実験 建築生産演習・実験	